

2024年  
2月号  
✳

# 原水協通信 (大阪版)

国連 NGO 原水爆禁止日本協議会  
毎月1回6日発行  
〒113-8464 文京区湯島2-4-4  
(大阪原水協)〒542-0012  
大阪市中央区谷町 7-3-4  
新谷町第3ビル 210号  
電話 06(6765)2552  
FAX 06(6765)2837



## 核兵器禁止条約に参加する日本を！ ストップ戦争！ ノー増税・大軍拡



発効3周年天王寺宣伝行動



日本は核兵器廃絶の先頭に  
いま、ロシアのウクライナ侵略  
やイスラエルのパレスチナ・ガザ  
地区へのジェノサイドなど、国  
連憲章の平和の理念が踏みにじ  
られています。しかし、1月15  
日にアフリカのサントメ・プリン  
シペが核兵器禁止条約の70カ  
国目の批准国になりました。  
世界はもはや核大国の思いの  
ままになる時代ではありません。  
日本は唯一、戦争で核兵器  
による惨劇を経験した国とし  
て、核兵器禁止条約に参加し、  
国民の安全と平和を守るべきで  
す。

### 核兵器禁止条約発効3周年天王寺宣伝行動を取り組みました！

大阪原水協は核兵器禁止条約が発効して3周年の前日、1月21日に天王寺キューズモール前で宣伝・署名アピール行動を行いました。この行動には大阪労連をはじめとする各団体と天王寺原水協などから25名が参加してアピールしました。また、能登半島地震被災者支援のカンパの訴えも行いました。

署名は21筆、能登支援カンパは2275円の協力がありました。スピーチの司会と主催者の訴えは大阪原水協橋口事務局長が務め、北川大教組委員長、大阪民医連の中本さん、大阪自治労連の有田さん、新婦人大阪府本部の秋元さん、日本共産党の小川陽太さんと山本訓子さんの7名が行いました。各弁士から「核兵器禁止条約は核兵器に関するあらゆることが禁止された画期的な条約だ。日本は核兵器禁止条約に参加していない。すみやかに署名・批准すべき」「日本がこの条約を批准すれば核兵器はなくすことができる」「この3年間で核禁条約は規範力が強化され世界に変化を起こしている。」「第1回、第2回締約国会議にも日本は参加しなかった。被爆者から批判されている。」「戦争準備、大軍拡ではなく核兵器禁止条約に日本は参加すべき」と訴えました。

日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書決議

**675自治体**

(2024年1月26日現在)

☆ 核兵器禁止条約の署名・批准を求める 署名の到達

2024年1月22日の到達 115,968筆

大阪原水協は、毎月22日を集約日としています。

各団体・地域原水協・個人より報告をお願いします。

# 2024年ビキニデー学習パンフB5版1冊220円・ポスター80円

所定の申込用紙で大阪原水協迄申し込んで下さい。送料実費。200冊以上は送料無料



2024年は、ビキニ水爆被災70年です。日本国民が被爆者とともに訴えた原水爆禁止の声は世界に響き、圧倒的多数の国の政府と市民社会の声を国際法として発効させ、核兵器の使用や威嚇実験などの手をしばって来ます。しかし、問題は、まだ解決したわけではありませんが、11月末にニューヨークの国連本部で開催された第2回締約国会議は、核兵器による使用と威嚇を厳しく批判し、条約の普遍化に向けて新たな前進を開始しました。

核兵器禁止条約は、いまや世界の主流であり、禁止条約がもたらす核大国も抑えることができない発展方向となっており、核保有国と核依存国、とりわけ被爆国日本でのたたかいは、決定的に重要で、3・1ビキニデーを被爆国の日本政府が、核兵器禁止条約に参加し、核兵器の廃絶へ世界をリードする役割を果たすよう、行動の出発点にしようではありませんか！

積極的な地域・職場での学習パンフ・ポスター・チラシの活用、普及をお願いいたします。

## 核兵器禁止条約が起す平和の流れ

2024年1月22日は、核兵器禁止条約発効から3周年で、大阪府内各地域でも宣伝行動が取り組まれました。この3年間でその規範力が強化され、世界に変化を起こしています。

今年1月15日アフリカ西部の島国サントメ・プリンシペ民主共和国が禁止条約に批准し、93カ国が調印(署名)、批准は70カ国となりました。禁止条約の第2回締約国会議には、59カ国の締約国と市民社会の代表122団体700人、アメリカの戦術核が配備されているドイツ・ベルギーなども含めて35カ国が「オブザーバー」参加しました。

もはや核大国も禁止条約の流れを無視することも抑えることもできません。昨年11月、ロシアも含めた主要20カ国首脳会議(G20サミット)は、「核兵器の使用又はその威嚇は許されない」とする共同宣言を採択しました。ますます、日本政府の無責任な態度が世界の注目の的となっています。

## ビキニ水爆被災70年

### 3・1ビキニデーに参加を

いまから70年前の1954年3月1日、アメリカは中部太平洋ビキニ環礁で水爆実験をおこないました。広島に落とされた原爆の1000倍という爆発により発生した「死の灰」は、日本の多くのマグロ漁船の乗組員やマーシャル諸島の島民たちに深刻な放射線被害を生み出しました。被ばくした漁船員たちは救済されず、放置されたままです。広島、長崎につづく三度目の核兵器による被害は、日本国民のなかに不安と怒りを引き起こし、「水爆実験即時中止」「原水爆禁止」などを求める署名は、当時の日本の有権者の過半数を超え、広島での第1回原水爆禁止世界大会の開催につながりました。

3月1日は、人類と核兵器とのたたかいの「出発の日」です。静岡でおこなわれる3・1ビキニデーにぜひご参加ください。

## 【お知らせ】 原水爆禁止大阪府協議会2024年度 第1回拡大団体・地域代表者会議

日時：2024年2月22日(木) 18:00~20:00 場所：大阪府社会福祉会館503号室

《講演》講師 川田 忠明さん「すすみつつある核兵器禁止条約の今」(仮題)

欠席される場合は必ず大阪原水協迄ご連絡下さい。